

スポーツ文化局 令和元年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

少子高齢化の進行、価値観の変容と多様化、地域のつながりの希薄化、国際化の進展等、本市を取り巻く環境が急激に変化し、多くの課題を抱える現代社会においては、市民の健康増進や生きがいづくりに貢献し、地域に深い絆を形成することにも寄与するスポーツと文化芸術の果たす役割が、ますます重要なものとなっています。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会という。）において、本市で開催されるサッカー競技・バスケットボール競技が円滑に行われるよう、大会気運の醸成を図るとともに、官民一体となった「オールさいたま市」でのおもてなしを推進することで、大会のレガシーを本市に残していく必要があります。

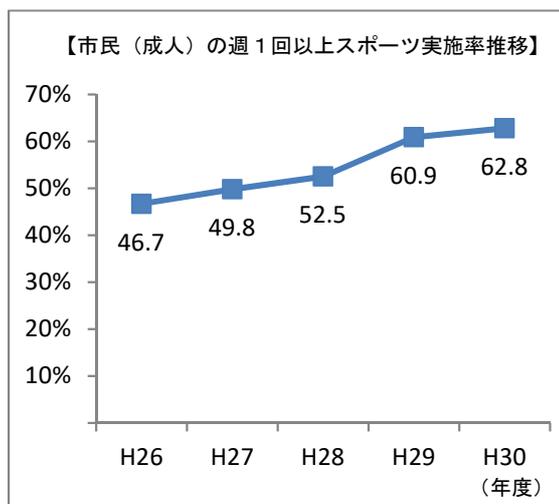
東京2020大会は、文化の祭典としても位置付けられていることから、文化芸術の関心向上・気運醸成に向けて一層の取組を進める必要があります。

こうした背景のもと、スポーツ環境を整備することや、地域の文化芸術資源を活用すること等により、市民がスポーツや文化芸術に親しむ機会が増えることを通じて、生活にゆとりと潤いをもたらし、地域に活力を生み出すことが求められています。さらに、シンボリックな大会やイベントを開催すること等により、国内外に向けて市の魅力を発信し、地域経済の活性化にも寄与することで、スポーツや文化芸術を活用した健康で心豊かな活力あるまちづくりを推進する必要があります。

（1）スポーツ実施率の向上

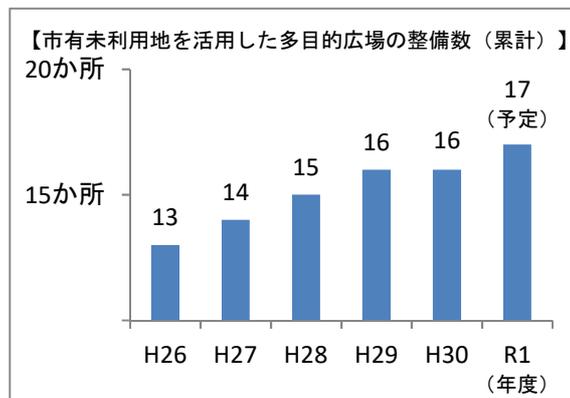
市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率をみると、右のグラフのとおり上昇しています。

東京2020大会の開催を控え、スポーツへの関心が高まりつつある中、スポーツ環境の整備とともに、市民参加型のスポーツイベントや教室等の開催を支援することで、市民の自主的なスポーツ参加を促す必要があります。



（2）スポーツ環境の整備

市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる多目的広場やさいたまスポーツシュールの整備、スポーツ施設の利用状況や将来の人口動態などを踏まえ、適切なスポーツ施設の総量を算出する中長期的な整備計画を策定する必要があります。



(3) 「スポーツのまち さいたま」の実現
国際女子マラソンと、市民参加のフルマラソン等を併せた大規模スポーツイベントである「さいたま国際マラソン」の開催や、「ツール・ド・フランス」の名を冠したレースの開催支援を行うことで、スポーツの振興はもとより、地域経済の活性化を図る必要があります。

また、令和元年9月に開催されるラグビーワールドカップ2019™日本大会に向け、市民のスポーツに対する関心を高め、「公認チームキャンプ地」として世界のトップチームを受け入れるための整備を進める必要があります。

さらに、法人化した「(一社)さいたまスポーツコミッション」の活動を支援する必要があります。



【ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム】



【さいたま国際マラソン】

(4) 東京2020大会開催に向けた取組の推進

大会の開会式が令和2年7月24日であることを踏まえれば、令和元年度は実質的に、大会への気運醸成に関する集大成となる年となります。

平成30年8月に実施した、インターネット市民意識調査によると、市内で競技が開催されることを「知っていた」と回答した方が、サッカーで66.6%、バスケットボールで50.7%でした。大会に向け一層の気運の醸成が必要となります。

また同調査では、さいたま市でオリンピック競技が実施されることをうれしいと思う市民の割合が70.2%でした。開催を喜ぶ市民意識を活用し、市民や民間企業・団体が様々なかたちで、東京2020大会に関わることで、大会を通じて、おもてなしの取組やボランティア文化といったレガシーを本市に残す必要があります。

	平成27年7月	平成29年8月	平成30年8月
サッカー競技開催の認知度	47.1%	61.0%	66.6%
バスケットボール競技開催の認知度	32.3%	43.5%	50.7%

(5) 文化芸術都市の創造

「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」を創造するために、「文化芸術都市創造計画」（平成26年3月策定）に基づく各種施策を総合的かつ計画的に実施するとともに、同計画の重点プロジェクトである「さいたま国際芸術祭2020」を開催するため、各種プロジェクトの準備及び広報活動等を進める必要があります。

また、市民会館おおみやの機能移転を実施し、文化会館機能、コミュニティ機能等を備えた新たな施設の整備を進める必要があります。



【文化芸術都市創造計画】

Art  Sightama
さいたま国際芸術祭2020

(6) 人形文化の振興

本市の特色ある地域資源である人形を活用し、人形文化の振興を図るとともに、観光振興等にも寄与するため、令和2年2月の開館に向け人形文化の拠点施設として岩槻人形博物館の整備を進めていく必要があります。



【岩槻人形博物館 外観イメージ】

(7) 盆栽文化の振興

本市の特色ある地域資源である盆栽を活用し、盆栽文化の振興を図るとともに、観光振興等への寄与、さいたま国際盆栽アカデミー事業の推進のため、大宮盆栽美術館の運営の充実を図る必要があります。



【大宮盆栽美術館】

2. 基本方針・区分別主要事業

スポーツ環境を整備することや、地域の文化芸術資源を活用すること等により、市民がスポーツや文化芸術に親しむ機会を増やすとともに、シンボリックな大会やイベントを開催すること等により、都市としての魅力を高め、地域経済の活性化にも取り組むことで、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現と、「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」の創造を目指します。また、東京2020大会を控え、おもてなしの取組やボランティア文化といった大会のレガシーを本市に残すことを目指し、大会1年前となる令和元年度は、大会への気運をさらに盛り上げるとともに、市民・企業・関係団体とともに、おもてなしアクションプランや大会時のボランティア活動の準備を推進します。

(1) スポーツに親しむことができるよう、多彩なプログラムを提供します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
1	総振 成長 創生	女子スポーツ競技力向上事業 〔スポーツ振興課〕	700 (700)	700 (700)	市内の女子小・中学生を対象に、プロ・アマトップスポーツチームの選手・コーチ等の指導を受けられる機会を提供
2	総振 創生	さいたまシティカップ開催事業 〔スポーツ振興課〕	40,000 (40,000)	0 (0)	海外強豪クラブチームを招聘し、「サッカーのまち さいたま」にふさわしい国際親善試合を開催
3	拡大 総振 成長 創生	スポーツコミッション推進事業 〔スポーツ政策室〕	249,300 (249,300)	85,938 (85,938)	全国大会等の各種スポーツ大会の誘致支援やスポーツイベント事業、スポーツを核とする民間力を活用した複合的な事業を実施する「(一社)さいたまスポーツコミッション」の活動を支援

(2) スポーツ・レクリエーション活動の場の充実を図ります。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
4	拡大 総振 成長 創生	多目的広場等整備事業 〔スポーツ振興課〕	94,144 (28,934)	23,224 (23,219)	市有未利用地等を活用したスポーツもできる多目的広場1か所を新たに整備するとともに、東京2020大会の気運の醸成を図るため、バスケットボールコート2か所を新たに整備
5	新規	スポーツ施設の整備計画策定事業 〔スポーツ振興課〕	9,300 (9,300)	0 (0)	今後のスポーツ施設に求められる量や質等の考え方をまとめ、整備計画を策定

〔区分〕 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
 倍増 … しあわせ倍増プラン2017事業 成長 … 成長加速化戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
6	拡大 総振 成長 創生	スポーツシューレ事業 〔スポーツ政策室〕	26,031 (26,031)	4,963 (4,963)	持続可能なスポーツ振興の実現に向けて、民間力を最大限に活用したネットワーク型のスポーツシューレ事業として、新たに女子サッカー等活性化事業などを実施

(3) 大規模イベントの開催等により、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」を目指します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
7	拡大 総振 創生	ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地整備事業 〔スポーツ振興課〕	85,906 (85,906)	12,543 (12,543)	公認チームキャンプ地として、世界のトップチームを受け入れるため、トレーニング施設の整備及び地域交流イベントを実施
8	総振 創生	さいたま国際マラソン開催事業 〔スポーツイベント課〕	250,373 (250,373)	260,264 (260,264)	「スポーツのまち さいたま」の実現に向けて、フルマラソンを中心とした市民マラソンとオリンピック等の女子マラソン代表選手選考レースを併せた「さいたま国際マラソン」を開催
9	総振 成長 創生	国際自転車競技大会開催支援事業 〔スポーツイベント課〕	220,940 (220,940)	273,980 (273,980)	「スポーツのまち さいたま」の実現に向けて、自転車を活用したまちづくりのシンボルとなる国際自転車競技大会「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の開催経費を補助

(4) 東京2020大会の気運を醸成するとともに、おもてなしアクションプランやボランティア活動の準備を推進します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
10	拡大	おもてなしアクションプラン推進事業 〔オリンピック・パラリンピック部〕	10,248 (10,248)	5,644 (5,644)	東京2020大会に対し、市民や民間企業・各種団体が関わる体制を強化するため、アクションサポート会議等を開催するとともに、東日本連携都市の南魚沼市と連携し、雪を活用した熱中症対策の実証実験を実施

〔区分〕 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
 倍増 … しあわせ倍増プラン2017事業 成長 … 成長加速化戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
11	拡大 総振	東京2020大会ボランティア推進事業 〔オリンピック・パラリンピック部〕	10,808 (10,808)	4,884 (4,884)	観戦客に向けたおもてなしのため、市内で活動するボランティアに知識や経験を得てもらうための研修を実施
12	拡大 総振	気運醸成イベント事業 〔オリンピック・パラリンピック部〕	33,584 (8,396)	30,405 (7,603)	東京2020大会開催までの気運を醸成するため、オリンピック・パラリンピック競技や各種スポーツ等を体験できるイベントを実施
13		ホストタウン交流事業 〔オリンピック・パラリンピック部〕	4,000 (4,000)	4,070 (4,070)	東京2020大会の事前キャンプ相手国と市民との交流を推進
14	拡大	オリンピック・パラリンピック啓発事業 〔オリンピック・パラリンピック部〕	6,917 (6,917)	1,047 (1,047)	東京2020大会の開催を広く市民に発信し、大会に向けた気運を醸成

(5) 生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市を創造します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
15	拡大 総振 倍増 成長	さいたま国際芸術祭開催事業 〔国際芸術祭開催準備室〕	325,195 (275,195)	21,400 (21,400)	「さいたま国際芸術祭2020」を開催するため、各種プロジェクトの準備及び広報・周知活動に係る経費を負担
16	拡大	(仮称)市民会館おおみや整備事業 〔文化振興課〕	7,736,277 (1,758,577)	4,065,876 (1,016,576)	大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業に伴い、市民会館おおみやの機能移転を実施し、文化会館機能・コミュニティ機能等を備えた新たな施設を整備

[区分] 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
 倍増 … しあわせ倍増プラン2017事業 成長 … 成長加速化戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

(6) さいたま市の地域資源である人形を活用した施設の整備を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
17	総振 増 成長	岩槻人形博物館整備事業 〔岩槻人形博物館開設準備室〕	512,760 (207,319)	1,212,947 (202,647)	本市の特色ある人形文化の振興を図るため、日本人形を中心とした展示や講座等を実施するとともに、観光振興等にも寄与するため、岩槻人形博物館を開館

(7) さいたま市の地域資源である盆栽を活用した施設の充実を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
18	総振 増 成長 創生	大宮盆栽美術館管理運営事業 〔大宮盆栽美術館〕	133,671 (94,036)	112,490 (86,084)	盆栽文化の振興・活用及び観光振興のための拠点施設として、資料等の収集や展示など、施設の運営を行うとともに、さいたま国際盆栽アカデミーの外国人向けコース等4コースを新たに開講

[区分] 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
 増 … しあわせ増プラン2017事業 成長 … 成長加速化戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
スポーツ振興課	臨時グラウンド管理業務委託料の縮小	田島臨時グラウンドの一部が他課から移管されたことにより、管理業務委託を一括発注としたため委託料を縮小する。	△ 1,861
スポーツ振興課	各スポーツ団体への補助金の縮小	近年の交付実績を勘案して、各スポーツ団体への補助金を縮小する。	△ 110
スポーツ振興課	さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会補助金の縮小	近年の交付実績を勘案して、サッカーのまちづくり推進協議会への補助金を縮小する。	△ 50
スポーツ振興課	印刷製本費の縮小	近年の実績を勘案して、体育賞プログラム印刷製本費を縮小する。	△ 16
文化振興課	展示に係る委託料の縮小	展示内容の変更により、展示に係る委託料を縮小する。	△ 738
文化振興課	文化芸術都市創造補助金の縮小	近年の交付実績を勘案して、補助金を縮小する。	△ 200
文化振興課	市民文芸報償費の縮小	近年の実績を勘案して、委員謝礼を縮小する。	△ 40
文化振興課	寄附感謝状筆耕料の廃止	寄附感謝状筆耕料について、筆耕をプリンター印刷により代替することとしたため、予算計上を廃止する。	△ 20
文化振興課	消耗品費の縮小	近年の実績を勘案して、必要となる一般事務用消耗品等を精査し、予算額を縮小する。	△ 15
文化振興課	印刷製本費の縮小	近年の実績を勘案して、講座案内等に係る印刷製本費を縮小する。	△ 6
岩槻人形博物館開設準備室	複写機使用料の縮小	電子データでのやり取りなど、複写機の使用の縮減に努めたこと、過去の実績から使用見込みを精査したことにより、使用料の予算計上額を縮小する。	△ 55
国際芸術祭開催準備室	アーティスト・オン・サイト事業の廃止	トリエンナーレの開催を契機に他部局における特徴を活かした同類の事業が展開されることとなったため、スポーツ文化局においては予算計上を廃止する。	△ 2,320
国際芸術祭開催準備室	アート作品維持管理事業の縮小	作家からの申し出により、作品の寄贈を受けることが可能となる見込みとなったことにより、賃借料を削減し、作品の運搬、設置に係る業務委託料のみを計上することで、レガシーとして引き続き市内での作品展開を図るものとする。	△ 1,525
大宮盆栽美術館	展示設営委託料等の縮小	近年の実績を勘案するとともに、展覧会の内容を見直したことにより、展示設営委託料や資料搬送委託料等を縮小する。	△ 3,076
大宮盆栽美術館	消耗品費の縮小	近年の実績を勘案して、グッズの購入数量を見直したことにより、消耗品費を縮小する。	△ 1,115
大宮盆栽美術館	使用料の縮小	近年の実績を勘案して、使用台数を見直したことにより学校連携バス及びシャトルバスの使用料を縮小する。	△ 619
大宮盆栽美術館	印刷製本費の縮小	近年の実績を勘案して、美術館パンフレット等の数量を見直したことにより、印刷製本費を縮小する。	△ 320
大宮盆栽美術館	旅費の縮小	近年の実績を勘案して、出張先を見直したことにより、旅費を縮小する。	△ 313
大宮盆栽美術館	広告料の縮小	近年の実績を勘案して、広告掲載媒体を見直したことにより、広告料を縮小する。	△ 130
大宮盆栽美術館	ワークショップ報償費の縮小	講座の内容を見直したことにより、講師謝金を縮小する。	△ 100
大宮盆栽美術館	光熱水費の縮小	近年の実績を勘案して、使用見込量を見直したことにより、光熱水費を縮小する。	△ 96
大宮盆栽美術館	手数料の縮小	近年の実績を勘案して、駆除等の回数を見直したことにより、ハチ駆除及びレジ変更手数料を縮小する。	△ 64
オリンピック・パラリンピック部	おもてなしアクションプラン推進事業	会議の開催実績等を踏まえ、報償費を縮小する。	△ 56